

国際著名誌頻出キーワード（物質）に係る 論文-特許件数マップ

図1. 国内大学等が保有する特許件数に関する論文 特許件数バブルチャート

図2. 国際著名誌掲載論文（著者所属機関が日本の大学等のもの）に関する論文 特許件数バブルチャート

【作成方法】

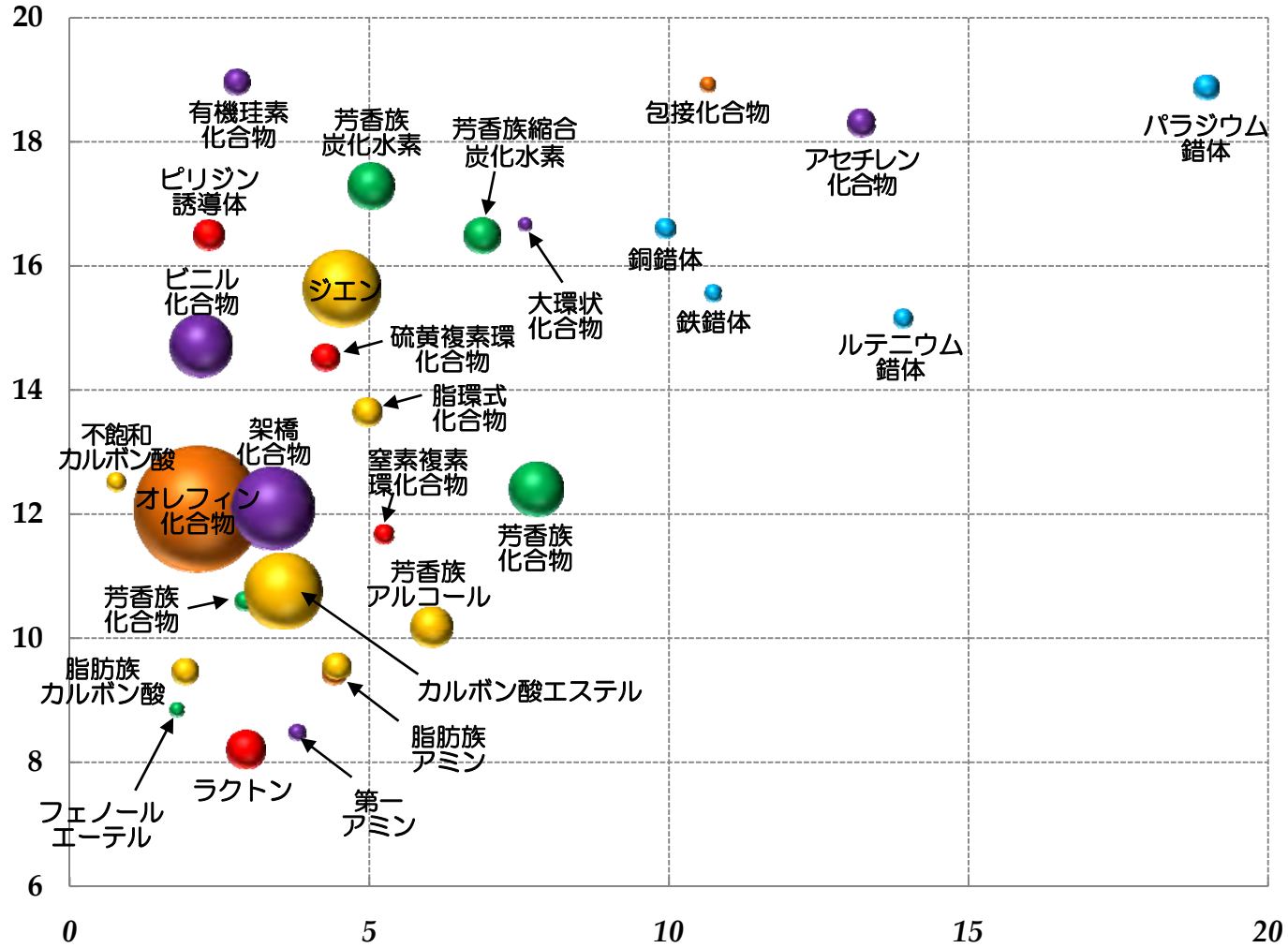
- ① JSTのJDreamIIを用いて以下の条件に合致する論文に頻出するキーワードを出現数順に出力。上位にランクインした物質に関するキーワードを選定し、その頻出件数（DB全体での件数と、著者の所属機関が日本国内の大学、企業等の研究機関である論文の件数）を分析。
 - ・インパクトファクター上位200誌のうち、JSTPlusファイルにおいて索引付与が行われた論文データ（文献情報）
 - ・発行年が2010年及び2011年である論文（2011年12月08日時点）
- ② NRIサイバーパテント（株）の「NRIサイバーパテントデスクII」を用いて、①と同様の各キーワードについて日本国内の大学、研究機関からの出願（出願日が2001年～2011年の特許）件数及び登録件数を分析。
- ③ 各キーワードについて、「著者所属機関が日本の大学等である論文数」と「DB全体の論文数」の比、「大学、研究機関からの出願特許件数」と「日本国内における出願特許件数」の比を算出、それぞれ縦軸、横軸の数値としてバブルチャートを作成。
- ④ バブルの大きさとして、それぞれのキーワードに係る特許登録件数（→図1）、著者所属機関が日本の大学等である論文件数（→図2）の2種を作成。

★ 図の見方

1. 縦軸「有力学術誌掲載論文のうち日本の占める割合」（即ち、著者所属機関が日本の大学等である論文数／DB全体の論文数）は、当該キーワードを含む日本発の論文の国際的レベルを、横軸「日本出願特許のうち出願人が大学等である割合」（即ち、大学、研究機関からの出願特許件数／日本国内における出願特許件数）は国内特許出願における大学等の寄与を表しています。
2. バブルの大きさは、図1は当該キーワードを含む大学などの特許保有件数を、図2は日本発の有力誌掲載論文数を表しており、これを比較することにより、それぞれのキーワードについての大学の有する技術の水準、特許としての出願の可能性等についての示唆が得られます。
3. 論文掲載されていても、その技術（研究成果）が必ずしも特許出願されていることを意味しないことにご留意下さい。

図1. 国内大学等が保有する特許件数に関する論文 - 特許件数バブルチャート

有力学術誌掲載論文のうち日本の占める割合



日本出願特許のうち出願人が大学等である割合

バブルの面積は日本の大学等による特許保有件数

図1'. 国内大学等が保有する特許件数に関する論文 - 特許件数バブルチャート

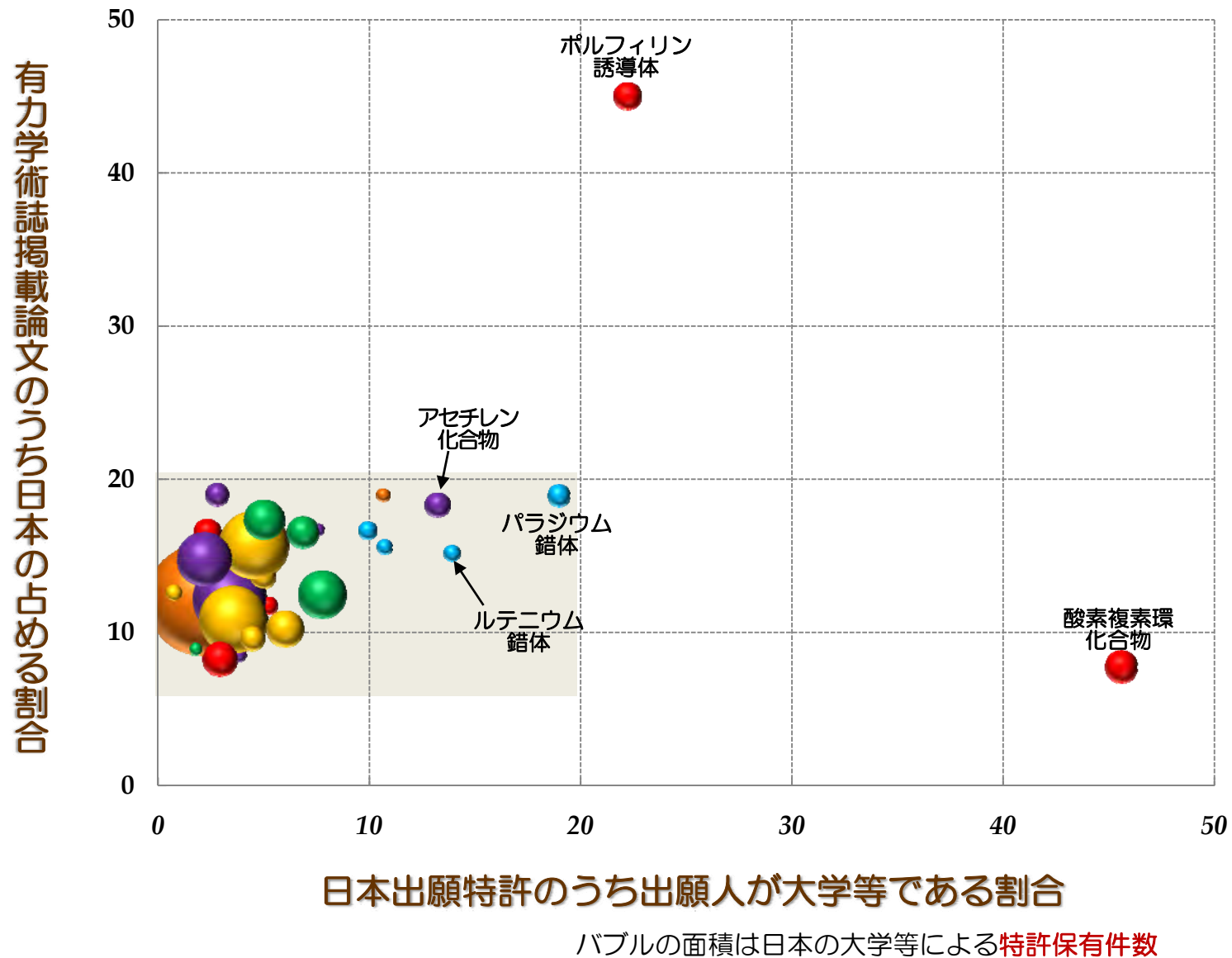
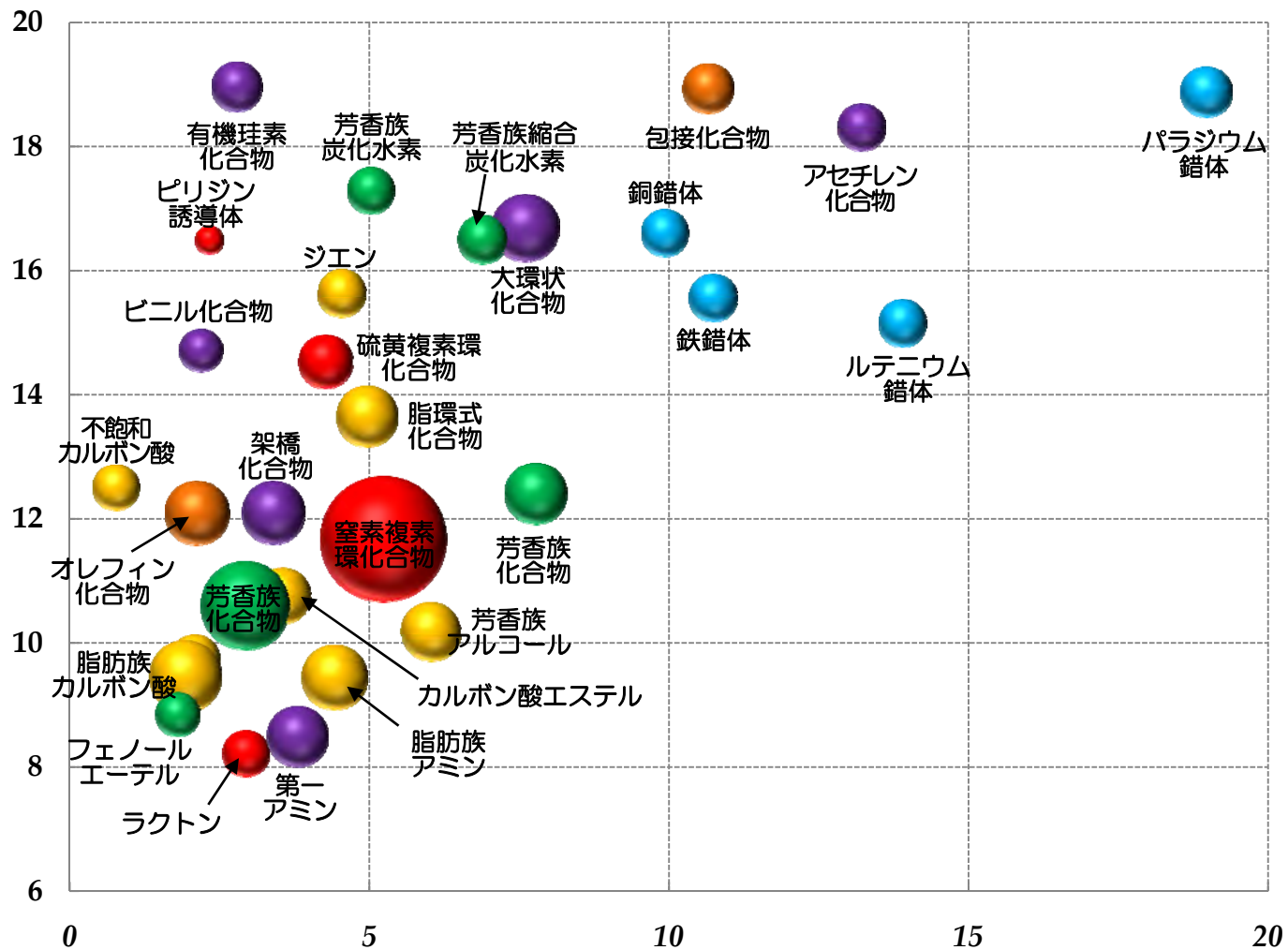


図2. 国際著名誌掲載論文（著者所属機関が日本の大学等のもの）に関する論文 - 特許件数バブルチャート論文 - 特許件数バブルチャート

有力学術誌掲載論文のうち日本の占める割合



日本出願特許のうち出願人が大学等である割合

バブルの面積は日本の大学等による有力誌掲載論文件数